BLUE-SKY

「自立」「敬愛」「創造」の精神のもとに
夢や志に向かって主体的に学ぶ生徒の育成

発　行　者
長崎市立橘中学校
校　長　德永　達樹

橘ウインズ　橘スイミングクラブ

部活動の地域展開に関しては、各部で計画的に進めていただいています。まずは次年度の中総体を目途に土日の地域移行を完了させる方向で御協力いただいているところです。女子バスケットボール部はすでに土日は地域クラブとして活動していますが、続いて吹奏楽部も土日は『橘ウインズ』として、水泳部も『橘スイミングクラブ』として長崎市の認定地域クラブとなりました。

これから、続々と各部が認定地域クラブへと移行していくことになるかと思います。指導者確保や各種登録、会則作成等大変なことも多いかと思いますが御協力ください。

「バウンダリー」「セクストーション」

これらの用語、保護者の皆様は御存知でしょうか？

先週、日本思春期学会性教育認定講師の方をお招きし、１年生を対象に性教育を実施いたしました。その際に出てきたキーワードが**「バウンダリー」**です。簡単に言うと**自分と他人の「境界線」**という意味のようですが、その境界線が存在することを理解することはとても重要です。相手の考えが同じではないこと、相手が聞かれるといやなこと、自分は教えていいけど、相手は教えたくないこと、その境界線を理解していないと、どうして教えてくれない！とか、そのくらいいいじゃないか！など、発生し続けると思います。バウンダリーを理解し、違いを認め合うとともに、確認と同意を繰り返す、とても大切なことを教えていただきました。

加えて先週、不審者対応避難訓練も実施しました。不審者侵入時の対応ということで、生徒以上に職員の訓練となりましたが、子どもたちも不審者侵入時の対応を頭の中で想定してくれたと思います。

訓練には、県警スクールサポーターの方をお招きし、訓練を評価いただきましたが、加えて中学生が被害・加害となってしまう様々な事案について説明いただきました。その中で**「セクストーション」**の例として外国人から友達になろうという連絡が来て、仲良くなっていくうちに、一方的に相手から裸の写真が送られてきて、その見返りに自身の裸の写真をお願いされ、こちらももらったのでと**自身の裸の写真を送信すると、その写真をもとに脅迫をされてしまう**といったケースを挙げていただきました。この夏、本県で中学生を対象として多発したようで、今も続いているとのことでした。

性の多様性の理解についても、子どもたちを狙う犯罪についても、常に情報を得て、アップデートしていく必要性を感じました。保護者の皆様もこれからの社会を生きていく子どもたちのために、ぜひアンテナを高くしていただければと思います。

期末テストが終了

子どもたちには、かなりのストレスなのでしょう、テスト終了と同時に「やっと終わったー」クラスは解放感に満ちています。（ちなみに本校生徒のテストに臨む真剣な姿は本当に素晴らしいと感じています。）

最近は定期テストを廃止する学校も出てきています。（その分単元テストなどに各教科で取り組んでいくのですが・・・）保護者の皆様は定期テストに対し、どのような考えをお持ちでしょうか。「子どもたちがテストの点を気にしすぎている」「テストがないと勉強しない」「受験があるのだから、テストは必要」などなど。

「どうして定期テストがあるのか」、私たち教師のサイドからは「どうして定期テストを実施するのか」、御家庭では「どうして定期テストの勉強を頑張らないといけないのか」一度突き詰めて考えていく必要があると思います。おそらく考えれば考えるほど、テスト前以上にテスト後が重要なことに気づいていくと思います。テスト前の職員室では**必死にテスト問題を作成する先生方**の姿があります。時に他の先生と相談しながら問題の質を高めています。そのような**問題に必死に準備し真剣に挑む生徒**、そして出た結果。一問一問からわかる自分の状況を理解し、復習し、次につなげてほしいと思います。

私は今の橘中の状況であれば、もっともっと学力を高めていけると信じています。今の時期的に言うのなら「受験は団体戦」という言葉もあります。学校全体で学力向上の機運を高めていきたいと思います。

～健康戦隊「かぜ予防レンジャー」うまくきたえて！発動中～

う・・・うがいをするんジャー　ま・・・マスクをつけるんジャー　く・・・空気の入換えをするんジャー
き・・・規則正しく生活するんジャー　た・・・体力をつけるんジャー　え・・・栄養バランスをとるんジャー
て・・・手洗いをするんジャー

先週、校長室は「かぜ予防レンジャー」の発動が遅れ、きつい日々でした。ぜひ、ご家庭でもレンジャー発動を！